



熊本地震により  
被災された方々、ご家族  
の皆さまに心より  
お見舞い申し上げます。  
蓮田病院職員一同

## 蓮田病院理念

“思いやりのある やさしい医療”  
“最新の高度医療”

発行：蓮田病院広報部  
連絡先：048-766-8111 蓮田病院総務課  
発行日：平成29年3月1日

## 虫垂炎の診断について

放射線科 専門医 磯貝 純



虫垂炎いわゆる「盲腸」は、病院の中ではアップ（ドイツ語由来）とも呼ばれ、よく知られた病気です。さて虫垂はどこにあるのでしょうか。右の下腹部で、小腸は大腸に突き当たり、T字路を作っています。上に行けば結腸で、下に行けば、行き止まりになっていて、これが盲腸です。盲腸の先にミミズのように付いているのが虫垂で、みの虫のように垂れ下がっているのが語源です。風船棒を途中までふくらませたような形で、太い部分が盲腸、細い部分が虫垂です。なので、細くて小さくても大腸なのです。以前は無用の長物のように言われていましたが、最近では、虫垂はリンパ組織が豊富で、免疫に関与することが分かっています。よく小さい頃、スイカの種を食べると「盲腸」になると言われたものですが、何もはまり込まなくても虫垂炎は起こります。不思議なもので、誰か一人が虫垂炎になると、伝染したかのように、次の虫垂炎の患者さんが続くことがあり、もしかしたら、季節や食べ物によってリンパ組織が反応しているのかもしれない。

さて本題ですが、その昔、外科医は「たかだかアップで、CTなんか撮るな」と言ったものですが、今から20年ほど前に、CTが虫垂炎の診断に有効であると報告されて以来、マルチスライスCTの発達で、今では、太さ数ミリのはれていない虫垂が写り、虫垂炎との区別ができるようになりました。超音波検査もとても有効なのですが、近くの腸の中にガスが多いと、見えなくなってしまう欠点があります。今でも、時に診断が遅れ、小さいお子さんやお年寄りのかたに多いのですが、重症の腹膜炎を起こすことはあります。その昔、診断が遅れて命にかかわるような虫垂炎が多かったことを思うと、私たちは画像診断の進んだ時代に生きて幸せなのだと思います。まさに「たかがアップ、されどアップ」なのです。

## 当院の院内感染対策について

感染管理認定看護師 大谷 吉明



医療関連感染（院内感染）とは、医療施設内において、検査・治療・ケアを受ける状況下において原疾患とは別に新たに罹患する感染症のことを言います。また、医療従事者が職務上罹患する感染症も含まれます。

医療施設内では、感染症の患者と感染症に罹患しやすい患者とが同時に存在している環境です。感染症は、人の身体に侵入した微生物によって起こりますが、全てが問題となる訳ではなく、中でも抵抗力の弱い患者様などに対してはリスクがあります。そのため、患者様とご家族様が安心して治療やケアに専念するには、院内における感染対策が重要であり、根拠に基づく具体的な対策や予防が必要となります。

当院では、医療関連感染の予防や対策として、院内感染対策委員会、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師から構成される感染制御チーム（ICT）や看護部感染対策委員会を組織し、院内感染対策に取り組んでいます。具体的な活動として、病院内外の感染症情報を収集し医療関連感染の予防及び、発生時の迅速な対応、感染制御チーム（ICT）による週1回の院内環境・患者巡回の実施、感染対策研修の開催、近隣の病院や保健所との連携や情報交換等を実施しています。特に、実践的な活動を担う感染対策チーム（ICT）は、各職種の専門性を活かし、感染対策に関する様々な事項の提案、実施、評価、改善を行っています。

感染対策の中で最も重要で基本的な対策は、「手洗い」です。感染症の元となる微生物は「人の手」から周囲に伝播します。医療従事者に対しても「手洗い」を周知実践していますが、当院にご来院になる患者様、ご家族様においても、当院に設置してあるアルコール式の消毒薬をご利用ください。また、感染症の流行時には、マスクの着用をお願いしています。また、入院している患者様や面会者様双方の安全面を考慮し、「面会禁止」等を実施することもありますので、ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

# IT室とは



IT室

日に日にIT化が進む現代社会、病院も例外ではありません。あまり想像できないかもしれませんが、病院内にはたくさんのシステムが稼働しています。患者様と直接接する事は少ないですが、病院スタッフが円滑に仕事できるよう院内のシステムを管理・運営しているのがIT室です。IT室には現在2名の医療情報技師が在籍しております。医療情報技師とは診療業務に関わる保健医療福祉情報システムの企画・開発および運用管理・保守を仕事とし、保健医療福祉の現場を知り、そこで活躍することができる情報処理技術者いわゆる医療関係のシステムエンジニアのことです。

主な業務内容をご紹介します。医師が処方や検査等を指示するシステム、事務員が会計計算するシステム、その他にも健診システムや給食システムなど様々なシステムの管理(お守り)を行っています。また、パソコンやプリンタ等の周辺機器および使用されるソフトウェア(スマートフォンでいうアプリ)、そして消耗品管理、インターネットやメールの設定管理サポート等も行っております。患者様が直接目で見られるホームページや、1階受付前、耳鼻科待合室前、歯科待合室前にある放映ディスプレイで、コンテンツ(情報)等の作成、管理も行っています。

業務改善も行っており、例えば今まで手作業で60分かかって行っていた業務をシステム化し、45分、30分に短縮します。残りの時間を患者さまとの会話時間として使えるようになります。またシステム化により安全管理面も向上されます。私達の業務でスタッフの仕事が効率化、安全化されていき、そのことが最終的には患者様への思いやりのあるやさしい医療を実現していくことを目標に頑張っています。

今後は、今注目されているLINEやFacebookなどのSNSサービスも取り入れて患者さまへ情報をご提供していきたいと考えておりますので、何かご意見やご要望がある方は気軽に近隣の病院スタッフにお申し付け下さい。



## 蓮田病院公開講座のお知らせ

日時:平成29年4月7日(金) 13:15~13:45

開始時間が変更になりました。ご注意ください。

テーマ: 具合が悪くなったらどうする?  
~埼玉県の救急医療体制~

講師: 麻酔科 医師 上田 朋範

参加費: 無料

お問い合わせ: 病診連携室 TEL 048-766-3660

※諸事情により講師及びテーマが変更になる場合がございますのでご了承ください。

## 編集後記

冬の寒さが少しずつ緩み、日差しが暖かくなってきました。この時期は年度末ということもあり、環境の変化や仕事が忙しくなるなど、どこか気の引き締まる季節です。また、新たな年度に向けて期待感も高まります。様々な草木が芽吹き、花咲く季節で明るい気持ちにもなります。新年度に新たな目標や計画を立てたり、新年に立てた目標をあらためて見直しても良いのではないでしょうか。

まだ気温差が激しい日が続きますので、体調管理には十分に気をつけて下さい。

広報委員 河合 奈美

